

# アジア欧州会合第12回外相会合（ASEM FMM12） 議長声明（骨子）

平成27年11月6日

## 1 冒頭

- ASEMはアジアと欧州との政治的対話、経済協力並びに文化的及び社会的交流のための重要な場。具体的で実質的な協力を継続すべき。

## 2 気候変動、持続可能な開発のための2030アジェンダ、防災/災害リスク管理

- 12月の2015年国連気候変動枠組条約締約国会議において、気候に関する野心的かつグローバルな合意が採択されることを期待し、それぞれの責任を果たすことにコミット。150を超える締約国が削減目標を提示したことを歓迎。パリでの合意は、透明性に関する規定に加え、行動と支援に関する報告と定期的レビューを通じた効果的な実施促進を含むべき。
- 持続可能な開発のための2030アジェンダの採択を歓迎し、ASEMの枠組で同アジェンダの実施に更に取り組むことに合意。
- 仙台防災枠組2015-2030及び持続可能な開発のための2030アジェンダを推進しつつ、ASEMでの防災及び災害リスク管理に関する協力の更なる発展を奨励。

## 3 連結性

- 全てのASEM関連の協力において連結性を主流化することに合意。連結性の強化は、経済成長に資するものであり、また貿易、投資、人の移動等を増大させる。
- 開かれた世界経済とより強靱な貿易・投資関係に向けたコミットメントを再確認。第10回WTO閣僚会議の成功に向けたコミットメントを改めて表明。
- 中小企業の役割、科学技術・イノベーション協力、デジタル面での連結性等の重要性を確認。文化、教育、学術、観光等を通じた人的交流の増進が連結性の必須条件と強調。

## 4 国際及び地域問題

- イランの核問題、シリアを含む中東及び北アフリカ情勢、アジアの地域安全保障環境、北朝鮮による核・ミサイル計画並びに拉致問題を始めとする人権状況等の朝

鮮半島情勢, ウクライナを含む欧州の安全保障情勢等につき意見交換を実施。

- 国連70周年の文脈で, 国連憲章の目的及び原則の支持, 平和, 安定, 安全, 開発, 繁栄及び人権, 法の支配, 軍縮・不拡散, ジェンダーの平等並びにより公平な国際秩序のための積極的努力を約束。主要な機構を含む国連改革のための努力を要請。
- 平和の維持, 海洋安全保障, 航行及び上空飛行の自由, 阻害されない通商並びに海賊に対する戦いへのコミットメントを再確認。力の行使と力による威嚇の抑制, 一方的行為の自制, 及び国際法の原則に従い平和的な手段で海洋紛争を解決することが極めて重要であることに合意。この地域における信頼と安全を強化するための信頼醸成措置の意義を強調。
- 不法移民, 移民の密入国及び人身取引に関し, 根本原因への対応や困窮者への保護及び支援の提供を含む包括的な地域的及び国際的な対応の必要性を協議。国際的な責任分担及び共同責任の精神に基づき, 地域的及び国際的な努力及び協力を強化するよう要請。
- あらゆる形態のテロ及び暴力的過激主義を改めて強く非難し, テロと戦う決意を表明。ISIL (いわゆる「イスラム国」) 等による国際的な平和と安全保障への脅威に対し懸念をもって留意。
- 地域統合に向けたASEANの努力を歓迎し, 2015年のASEAN共同体発足を期待。原子力安全に係る協力強化の重要性を強調。マレーシア航空MH17便撃墜のような暴力的行為は, 民間航空機の安全への脅威。

## 5 ASEMの将来及び結語

- 明年ASEM20周年を迎えることを踏まえ, ASEMの将来について議論。非公式性及び柔軟性が強化されるべきことに合意。
- 政府主導のASEMプロセスを補完するアジア欧州財団(ASEF)の活動を賞賛。また, 市民社会や様々なステークホルダーの参加がASEMのヴィジビリティの強化の鍵であることを強調。
- 2017年にASEANの国で開催されるASEM第13回外相会合に期待を表明し, 2016年7月にモンゴルで開催されるASEM第11回首脳会合の成功への強い決意を表明。